

カジノ前提の夢洲開発 埋立もリスクが大きい

小原孝志議員



成を打ち出しています。で見通しが出せない」と

小原氏は、かつて大阪 説明しました。

市が夢洲への2008年 これまでの舞洲の護岸
五輪誘致を当て込み、 建設・埋立土地造成・基
「常住人口4万5千人、 盤整備などに2811億
就業人口3万人の街」を 円の巨費が投じられ、今
計画したが、ことごとく 年度以降の事業費538
失敗したと指摘。「今回 億円と合わせ全体事業費
の構想は)絵空事だ。膨 は3349億円に。小原
大な公金投入がされた上 氏は、そのうち税投入が
に、失敗するのではない 1955億円(58%)に膨
か」と警告しました。 らんだことを批判。残り

小原氏は、旧WTC の1394億円は土地売
(ワールドトレードセン 却収入を充てるという
ター)ビルをはじめベイ が、土地が売れる保障は
エリア開発の破綻で、1 ないことや、夢洲の開発

千億円あった都市整備事 に伴う新たな負担も不透
業基金も底をつき、埋立 明だとし、「万博、IR
事業会計も火の車となっ の誘致は埋立事業からみ
て、長期収支見込みも出 ても大変リスクが大き
せない事態に陥っている い」と断じました。

と強調。港灣局は「まち づくり構想の大幅な変更
たな国際観光拠点」の形

府や大阪市、経済界な どでつくった検討会がこ
とし8月にまとめた「夢 洲まちづくり構想」は、
カジノを核とする統合型 リゾート(IR)の誘致な
どで、「国内外から人・ モノ・投資を呼び込む新